



下北教育事務所
QRコード

社会教育だより「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

みんなでつながる！ 下北ジオパーク

一昨年認定された下北ジオパーク。下北全体で盛り上げようと様々な取組が行われていますが、4月～5月にかけ各地で、保全活動の一環としてボランティア清掃が行われました。

- 4月21日(土) 東通村猿ヶ森砂丘
- 4月28日(土) 佐井村願掛け海水浴場
- 4月29日(日) 脇野沢牛の首海岸
- 5月12日(土) 東通村北部海岸



佐井村願掛け海水浴場



脇野沢牛の首海岸

東通村猿ヶ森砂丘

東北ジオパークフォーラムin下北

東北ジオパークフォーラムが、青森県ではじめて下北ジオパークを会場に開催されます。基調講演や東北各地のジオパークを紹介するブースは一般公開されます。この機会に足を運び、下北の魅力を再確認してみたいかがでしょう。



【いつ】平成30年8月3日(金) 13:00～

【どこで】プラザホテルむつ

【どんな】基調講演「日本列島の成り立ちと下北ジオパーク」

東北各地のジオパーク紹介ブース

【問合せ】むつ市ジオパーク推進課 ☎ 22-1111 (代)

ど報告

今月号では5～6月に行った3つの研修会を紹介します！

青森県スポーツ推進委員中央研修会

～5月26日(土) 青森県総合社会教育センター～

実践発表：「地域における各スポーツ団体の連携・協働の実践～大間町スポーツ推進委員の関わりについて～」

発表者：大間町スポーツ推進委員 矢越 文男 氏



「はまなす駅伝」における各団体との連携について、それぞれの得意分野を生かして協働していくことが大事であると実践発表されました。

生涯学習・社会教育関係職員研修講座

～5月29日(火) むつ合同庁舎～

講義：「子ども・子育てを核とした地域づくりを考える」

演習：「子どもを育む地域活動を企画してみよう」

講師 弘前大学大学院 准教授 土井 良浩 氏



【講師から】

- 1 子ども、子育て中の親子と地域の人、環境、体験との出会いを生み出す活動を！
- 2 運営は市民、地域組織、NPOなどが、行政と協働したり支援を受けたりする形で！（子育て・子育ての共同化）
- 3 まずは、地域の課題やニーズにそった、緩やかな集いの場を設けて！



【参加者の声】

改めて地域での子どもたちの活動の大切さを感じました。下北の自然を生かした取組が、健全な子どもを育む上で不可欠であると思います。とても楽しい研修講座でした。

地域のチカラで家庭を支える 新たな連携・協働スタートアップ研修会

～6月2日(土) むつ市中央公民館～

講義：「地域のチカラで家庭を支える～家庭教育支援者と学校との連携～」

講師 追手門学院大学 教授 三川 俊樹 氏



事例発表：「男鹿市の取組について」

発表者：男鹿市教育委員会

主事 武内 春香 氏

同家庭教育支援チーム

リーダー 秋山 協子 氏



【講師から】

- 1 子ども・保護者の明るい笑顔
 - ・教職員が笑顔であいさつを心がけることで、保護者の心がほぐれ、明るく話をするようになる。
- 2 保護者との協力関係
 - ・保護者が子どもに一生懸命関わっていることを認めることで、保護者もうれしくなり、子どもとの関わりにもプラスになる。
 - ・保護者の思いを受けとめることで、保護者は「職員に認めてもらっている」という思いから信頼関係が深まる。
- 3 保護者の子ども理解
 - ・子どもの姿をできるだけ具体的に伝えることで、保護者は子どもの成長を喜び、子育てに意欲がでてくる。

【事例発表者から】

チームとして大切にしていること

- ・気軽に安心して話せる場づくり→お茶っこサロン
- ・地域の一員として支援を行うというよりつなぎ役に
- ・現場の声をよく聞き、家庭教育のニーズを探る
- ・無理せずできることを楽しみながら活動する



【参加者の声】

- ・地域のチカラが強くなるのが子供の成長、教育に大きな影響を与えることを痛感しました。
- ・実践に基づいたカウンセラーの専門性のあるお話。教員が家庭、地域と関わる際のヒントがたくさんありました。